



2025年3月13日

各 位

会 社 名 黒 田 グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 川 浩 一
(コード番号：287A 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 社 長 室 長 半 田 久 雄
(TEL. 03-6685-5115)

3 年計画の策定に関するお知らせ

黒田グループ株式会社は、昨年12月17日に東京証券取引所スタンダード市場に上場しました。この度2026年3月期～2028年3月期の3年計画を策定しましたので、ここにご報告いたします。内容につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

3カ年計画（2026年3月期～2028年3月期）



黒田グループ株式会社

2025年3月13日

目次

1. ミッション、ビジョン、バリュー
2. 3カ年計画 基本方針
3. 財務目標
4. 事業ポートフォリオ方針
5. 事業戦略 (製造事業 / 商社事業)
6. キャッシュアロケーション

1. ミッション、ビジョン、バリュー

Mission (ミッション)

グループ社是：「大地深く生命の根を張り大空高く自由に伸びよ」

Vision (ビジョン)

価値をつくりお取引先様によろこんでいただく

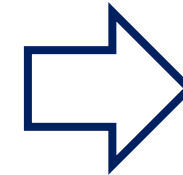
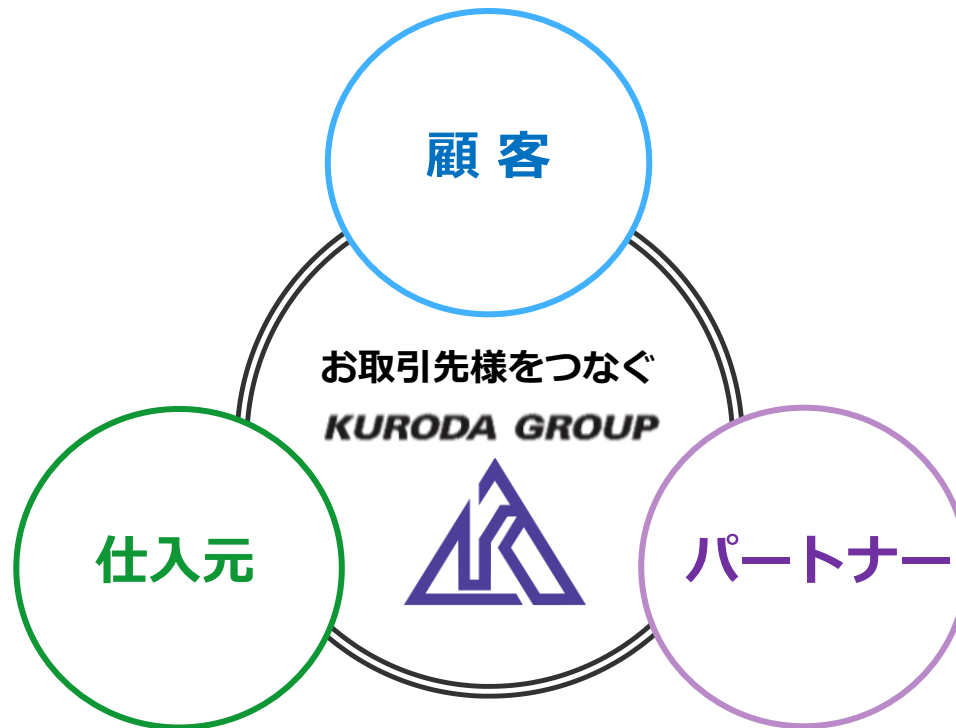
Value (バリュー)

グループ行動指針

1. 「常に挑戦し価値を創造する」
2. 「お互いに尊敬と信頼の念をもつ」
3. 「誠実に行動し説明責任を果たす」

2. 3カ年計画 基本方針

「製造1： 商社2 の売上構成を基本としたグループ運営」



次の成長の柱となる
製造事業の新規組み入れ

「デジタル対応」 × 「技術力」 × 「現地化の徹底」

お取引先様との事業基盤を活かした独自提案

3. 財務目標

	2024/3期 (実績)	2025/3期 (見通し*)	2028/3期 (目標)
売上収益	1,267 億円	1,210 億円	1,400 億円
営業利益 (%)	20 億円 (1.6 %)	59 億円 (4.9 %)	80 億円 (5.7 %)
自己資本比率	34.7 %	40.0 %	43.0 %
ROE	1.1 %	10.0 %	12.0 %
ROIC	2.0 %	6.0 %	8.0 %

* 2025年2月13日公表値準拠

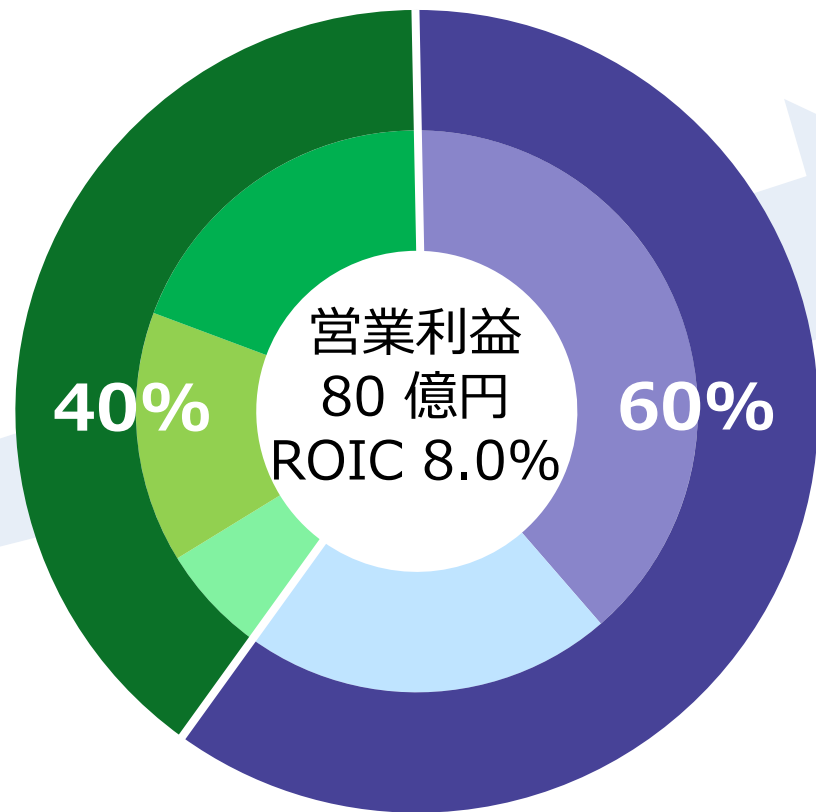
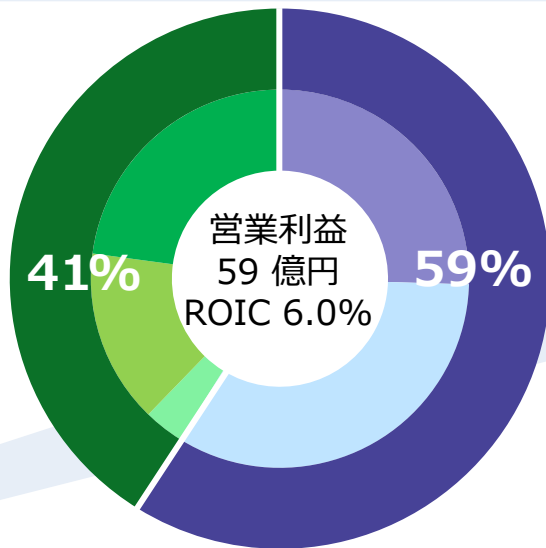
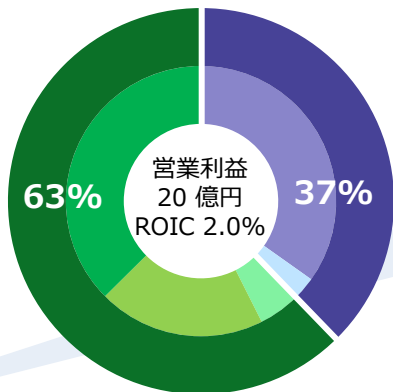
4. 事業ポートフォリオ方針

- 製造 (合計)
- 製造 (国内)
- 製造 (海外)
- 商社 (合計)
- 商社 (車載)
- 商社 (国内地域)
- 商社 (海外地域)

➤ 既存事業の利益成長
(+新規事業の組み入れ検討)

➤ 既存事業の安定運営

➤ 構造転換完了



*円の大きさは営業利益額、グラフの色分けは各構成比、グラフ上の数値は製造(合計)と商社(合計)の比率を示す(グループ共通損益は含まず)。

2024/3期 (実績)

2025/3期 (見通し)

2028/3期 (目標)

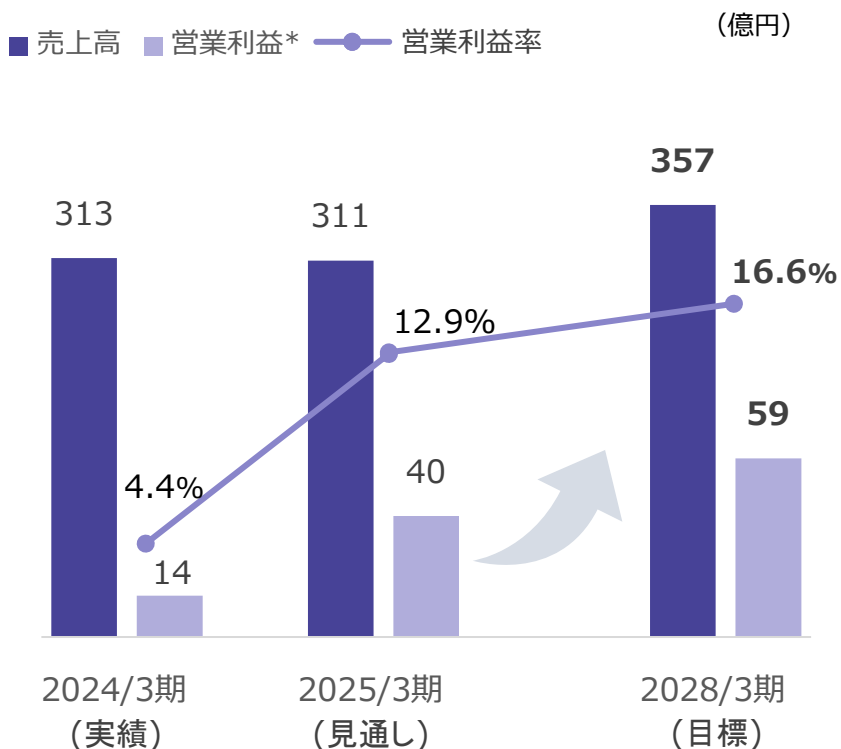
営業利益

5. 事業戦略 (製造事業)

基本戦略

- ◆ 品質を根幹に据えた製造力の底上げ
- ◆ デジタル対応×技術力強化による事業運営のスピードアップと顧客対応力の向上
- ◆ 現地化の徹底による各事業法人の特徴を活かした自立的でサステナブルな経営

収益目標



*グループ共通損益は含まず

事業別主要施策

液晶生産材

- 中国新工場の円滑な立ち上げと量産体制構築
- 製品品質の信頼性向上と現地営業強化によるシェアの拡大

電設資材

- 新工場稼働による製造・物流・販売の一体運営体制構築
- 「安全」「省施工」に寄与する新製品の継続投入

HDD部品

- 顧客密着度を高め、需要増の確実な取り込みとシェア維持
- 顧客ニーズへの技術対応力強化と製品品質の信頼性向上

その他

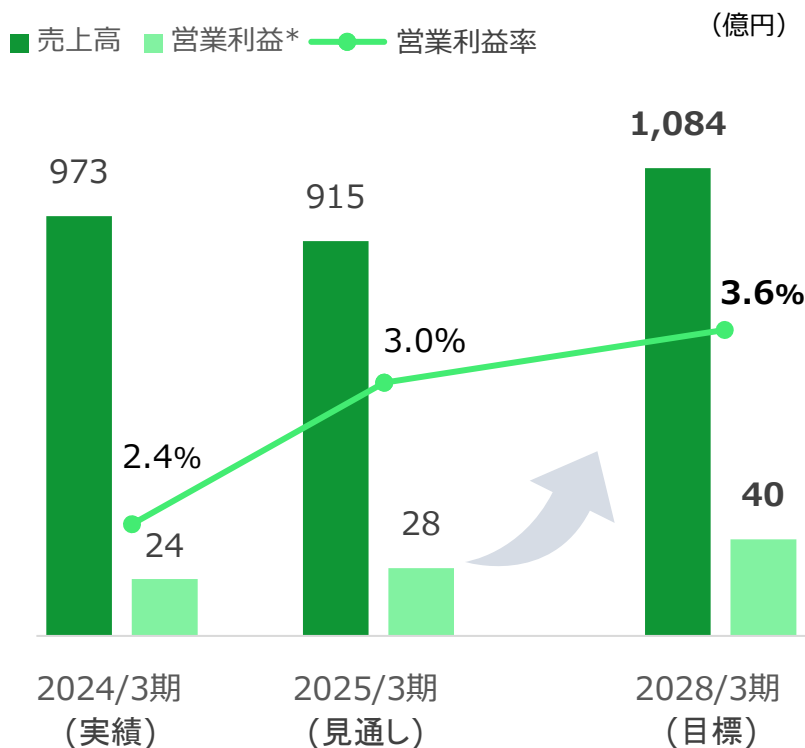
- デジタル対応による生産計画、工程管理の効率化
- 自動化設備投入による生産性向上、コスト競争力強化

5. 事業戦略 (商社事業)

基本戦略

- ◆ 顧客密着度を高め（現地化の徹底）、安定収益を確保
- ◆ デジタル対応による徹底した効率化と人的リソースの効果的配分
- ◆ 技術課題への顧客対応力強化と提供価値の創出

収益目標



*グループ共通損益は含まず

事業別主要施策

車載

- 現地化の徹底によるグローバルで均質なサービス提供
- 顧客と仕入元をつなぐ開発技術部門設立・強化

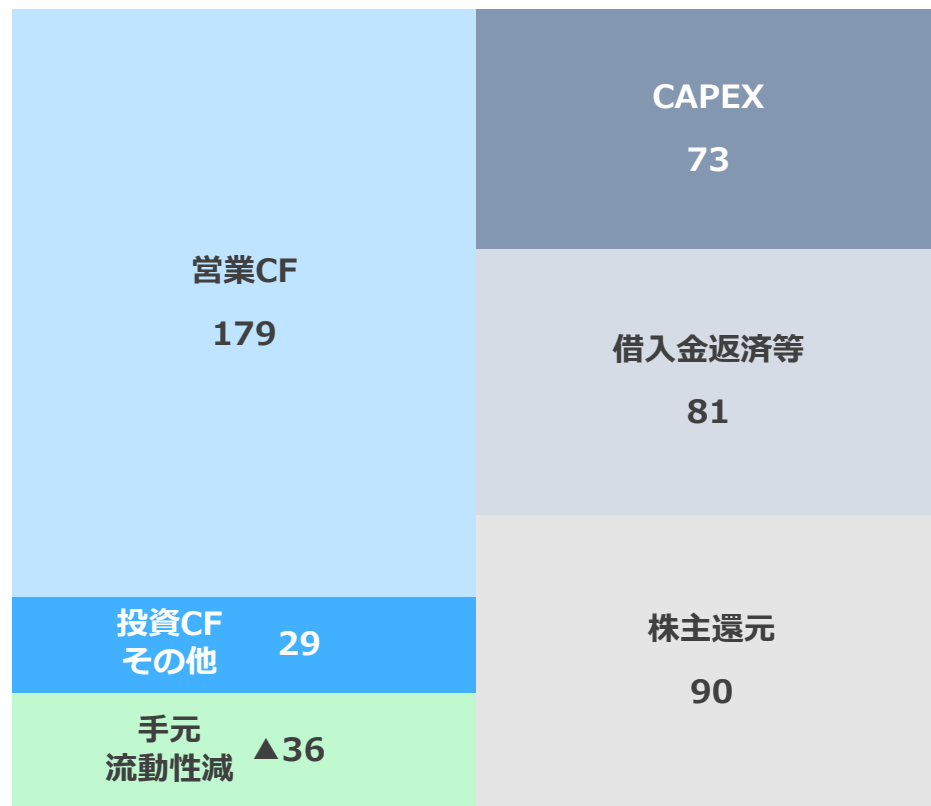
国内/海外地域

- 重点顧客の新規テーマの深耕及び量産受注精度向上
- 地域に密着したお取引先様との強固な信頼関係の維持

6. キャッシュアロケーション

キャッシュアロケーション計画

(億円)



3カ年計画期間
(2026/3期 - 2028/3期)

基本方針

財務規律（自己資本比率 40%）を維持しながら、成長投資、借入金返済、株主還元へ適切に充当

- 既存事業への成長投資は継続的に実施
- 借入金の圧縮を進め、次の柱となる新規事業を組み入れ可能な調達余力を堅持
- 3カ年計画期間における株主還元方針の継続
- DOE 7% *1、累進配当*2
- 手元現預金水準は月商1ヵ月程度を基本とし、将来の資金ニーズも勘案し、余剰となる部分は株主還元へ機動的に充当

*1：DOEのベースとなる「親会社所有者帰属持分(除くその他包括利益)」は、配当期の期首数値を参照する

*2：累進配当とは、原則として減配を行わず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

End of file.

<免責事項>

本資料における中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。